## 事務事業マネジメントシート

南アルプス市	平成	24	年度 (		マネジメント		业引	<i>V</i> = =	# D U	25	年	2	В	99 <b>🗆 1/1</b>	: <del>clt</del>
	(兼)予算編成資料・実施 《H24新規》地域ケア多職種協働推進等事業					可具科 所属部局		作成日 H     25       保健福祉部			単位番号			23 <b>日作成</b> 2012- 999026	
事務事業名		_						福祉総合相談課 相談支援担当		課長名			小林千江		
	<b>₩</b> I	V			実施計画事業	所属担		相談文 会計			款	当者: 項	名 目	長谷部 細目	裕子 細々目
基本政策	本		快適で心のかより	いあう都市づくり		予算科	相	01	一彤	L Z	03	01	01	020	20
政 策	画	7	社会福祉の充実	[		事業区	分	□ 県(		こよる郭	義務的	事業		記等維持 助金交付	
施策 条 27 地域福祉の充実						□ 市の制度による義務的事業 □ その他の事業 □ 義務化されている協議会等の負担金								業	
事業期間		年度の∂ 間限定ネ	み □ 単年度繰過 复数年度 (	区 (開始年度 ~	年度) 年度)	法令根	拠	地址	或ケア多	・職種協	協働推	進等事	業実	施要綱	
	期間限	定複数年	F度事業は次年度以		容も記載	事業費(	の主な	内訳	( 24	1年度	決	見込		!	-/
務 ネットワーク体制整 事 談に関する研修会		削擁護 <sup>↑</sup>	セミナー、総合相談(	本制についての先達	<b>医地視祭、総合相</b>	項目 報償費	(細質	<u>ħ)</u>	金額(	<del>千円)</del> 745	通 通信	項目(	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	金額 (金額	(千円) 70
**************************************					項目(細算 報償費 旅費 消耗品 食糧費				407	745 通信運搬費 407 使用料				250	
の 概						消耗品				841 26	L 傭d	占			653
要						印刷製料	本費			606		Ē	H		3,598
1 現状把握(D (1) 事務事業の目的	<b>O)</b> と指標														
① 活動			d John Mr. The college was	70 A L-34	71 days	(5	活動	<u> </u>	(事務事	業の流	舌動量	を表す	指標)	数字は記. 単位	入しない
24年度活動実績	ネットワ 進地視	/一ク体f  察、総4	制整備、権利擁護さ 合相談に関する研修	ミナー、総合相談 を会の開催	1 1 7	7 研修	<b>冬</b> 会開	<b>名</b> 催数	孙				里位	<u>I</u>	
25年度活動予定			事業のためなし			<b>→</b>			加者					人	
② 対象(この事務事	三举/十	推 何才	を対象にしている	のか) * 人わ白め	* 咨 语 生		ر ا	多比埵	(計争の	\+++	た主	才比插	) 粉 字	/ナミコ ス l <i>ナ</i> >	1.
<b>区</b> / 多 ( C O 争 4 万 =	F Ж 1 Ф 1	E . 1-1 C	1 X 3 X 1 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	<i>0007 * 7</i> COM	以其冰寸	<u></u>	ע אין	入7日7示	名	称	C 1X	9 1日1宗	) 奴士	は記入しな 単位	Į.
市民、支援関係者						⇒	<b>ア</b> 人「	コ 爰関係	耂					<u>\</u>	
						-	ל								
③ 意図(この事務事	業により	対象を	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)	<u>(7</u>	)成员	<b>!指標</b>	(対象に を	おける意	意図の	達成度	を表す	指標)数字(3	t記入しな
支援関係者が相談に	場するス	キルア	ップができ相談支援	に活かすことができ	i ス	l lī	ア 研作	果指標(対象における意図の達成度を 名称 修会開催数 修会参加者数					回		
人及因外日7月10日	N, 7 W	. (,,,,		,10,10,7 00%	. 2	l ' [1	イ 研作 <b>ク</b>	多会参	加者数	ζ				人	
④ 上位目的(どの。	ような結	果に網	古び付けるのか)					立成果			達成原	度を表す	<b>上指標</b>	)数字は記	
市民が安心して福祉サービスを受けることができる									称				畄 / 1	7	
市民が安心して福祉さ	トービス	を受ける	ることができる			,   ;	ア 福祉	サービン		<b>称</b> して受け	られる	と思う害	合	<b>単位</b> %	
市民が安心して福祉す	トービス	を受ける	ることができる			⇒ 1	P 福祉 イ	:サービン	<b>つ</b> スが安心		られる	と思う害	合	# P %	
市民が安心して福祉を		を受ける 単 <b>位</b>	ることができる 23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込·実績)	25年度 (予算·目標)	→ 26年 (次年度計	ſ F度			して受け <b>度</b>		と思う害 <b>28年</b> (計画・F	度		
(2) 事業費・指標の (2) 事業費・指標の (2) 国庫支	推移出金	単位	23年度			26年	ſ F度		スが安心 <b>27年</b>	して受け <b>度</b>		28年	度		年度
(2)事業費・指標の 年 財 国庫支 県支出 地方	推移 出金 1金	単位 千円 千円	23年度	(決算見込・実績)		26年	ſ F度		スが安心 <b>27年</b>	して受け <b>度</b>		28年	度		年度
(2) 事業費・指標の 年 財 国庫支 県支出 上 業内 その	推移 出金 付金 债	単位 千円 千円 千円	23年度	(決算見込·実績) 3,578		26年	ſ F度		スが安心 <b>27年</b>	して受け <b>度</b>		28年	度		年度
(2) 事業費・指標の 年 財 国庫支 事業 内 関 地方 での 一般質	推移 出金 量 债 他 才源	単位 千円 千円	23年度	(決算見込・実績)		26年	ſ F度		スが安心 <b>27年</b>	して受け <b>度</b>		28年	度	最終 (トータル=	年度
(2) 事業費・指標の 年	推移出金 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人 一人	単位千円千円千円千八	23年度 (決算・実績)	(決算見込·実績) 3,578 20	(予算・目標)	26年	ſ F度	標)	スが安心 <b>27年</b>	度間標)		28年	度 3標)	最終 (トータル=	年度 <sup>1スト・</sup> 目標)
(2) 事業費・指標の 年 財 国庫支 事業 内 投 力 費 訳 一般 事業費計	推移 出金 债 (A) 事人 事間	単位 千円 千円 千円 千円 千円	23年度 (決算・実績)	(決算見込·実績) 3,578 20	(予算・目標)	26年	ſ F度	標)	スが安心 <b>27年</b>	度間標)		28年	度 3標)	最終 (トータル=	年度 <sup>1スト・</sup> 目標)
(2) 事業費・指標の 年	推移 出金 情他 游 (A) 事情 (B)	单位 千千円 千千円 千千八 一千 千千八 一十 千千八 一十 十千八 十千八 十千八 十千八 十千八 十千八 十千八 十千八 十十八 十十	(決算・実績)	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598 0 3,598	(予算・目標)	26年	ſ F度	標)	スが安心 <b>27年</b>	た 度 目標) 0		28年	度 ]標)	最終 (トータル=	年度
(2) 事業費・指標の 年間	推移 出金 債他 が源 (A) 事人数 時間 (B)	単位 千千円円 千千人間 千円	23年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598	(予算・目標)	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年間 事業費 期源内 調集支 一般 事業費計 人件費 人件費計 (A)+(B)	推移出金 出金 情他源(A) 下イウ	単位 千千 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	23年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0	(予算・目標)	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年間 事業費 期源内 調集支 一般 事業費計 人件費 人件費計 (A)+(B)	推移出金 出金 情他源(A) 下イウ	単位 千千千八 時千十回 人	23年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598 0 3,598	(予算・目標)	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年間トータルコスト 東 費	推 8 金 は	単 千千千八 時千千回人 人人	23年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0	(予算・目標)	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年間トータルコスト 東 費	推出金価値が(A人間)	単位 千千千八 時千十回 人	23年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0	(予算・目標)	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年間	推 8 金 は	単 千千千八 時千千回人 人人 回	23年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0	(予算・目標)	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年 事業費・指標の 事業費 期源内訳 一般計 事業機計 (A)+(B) 活動指標 対象指標 成果指標 上位成果指標	推 出金 情他源 (A) 事情(B) アイウアイウアイ	単位       千千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算·実績) 0 0	(決算見込·実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 11.0 200.0	(予算·目標) 0 0 0	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年 事業費・指標の 事業費 期源内訳 事業費 事業員 (A) + (母) (A) + (母) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	推 3 (情 他 が (A ) 表 で (A ) を で	単位 千千円円 千千円円 千千円円 千千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	23年度 (決算·実績) 0 0	(決算見込・実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 11.0 200.0	(予算·目標) 0 0 0	26年	ſ F度	(7)	スが安心 <b>27年</b>	度 3標) 0 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年間トータルコスト  「無事業費」 「無事業費」 「無事業費」 「無事業費」 「表現職べ業計 (A)+(B) 「活動指標 対象指標 「大け、大け、大け、大け、大け、大け、大け、大け、大け、大け、大け、大け、大け、大	推 出金 (Mana) (Mana) (M	単位 千千千十八間 千千十八間 千千十八間 一八 人人 回人	23年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 200.0 30.1 2等)の変化、市員 24年度新規事業	(予算·目標) 0 0 0 0 3 3 3 3 5 5 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	26年 (次年度計	F   E   E   E   E   E   E   E   E   E	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<b>27年</b> (計画·E	<b>度</b> <b>0</b> 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年間トータルコスト  「1) 本の (A) 十号 (A) 十号 (A) 十号 (A) 十号 (A) 十号 (B) 十三 (A) 十号 (B) 十三 (A) 十号 (B) 十三 (A) 十号 (B) 十三 (B) 1 (B)	推 出金 情 他 源 (A 人間 B) アイウアイウアイ 巻 ど い 次 の くるか に ま か に か に	単年千千十八時千千回人人人回人状な経経にた、今後には、一人人の日本の一人は、日本の一人の一人人の日本の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	23年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 200.0 30.1 2等)の変化、市員 24年度新規事業	(予算·目標)  0  0  0  x 意見等	→ [2 26年 (次年度計	子 下度 一個·目	標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<b>27年</b> (計画·E	<b>度</b> <b>0</b> 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の ・ 事業費	推 出金	単 千千千千十人間円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 11.0 200.0 30.1 2等)の変化、市民 24年度新規事業 福祉に関する困難	(予算·目標)  0  0  0  x 意見等	→ [2 26年 (次年度計	子 下度 一個·目	標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<b>27年</b> (計画·E	<b>度</b> <b>0</b> 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 12人·目標 0
(2) 事業費・指標の 年 事業費・指標の 事業費	推 出金 (本)	単千千千千人間円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 11.0 200.0 30.1 2等)の変化、市民 24年度新規事業 福祉に関する困難	(予算·目標)  0  0  0  x 意見等	→ [2 26年 (次年度計	子 下度 一個·目	標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<b>27年</b> (計画·E	<b>度</b> <b>0</b> 0		28年	度 ]標) (C	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の ・ 事業費	推 出金	単千千千千十八時千千回人 人人 回人 状な経験になる。 は、	23年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 11.0 200.0 30.1 2等)の変化、市民24年度新規事業 福祉に関する困難談支援に従事する	(予算・目標)  0  0  0  0  ま意見等  事例や多問題事を 職員等のスキルア	26年 (次年度計 (次年度計	子 下度 ・画・目 増加相 ・目がある	<b>標)</b> 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<b>27年</b> (計画・E	<b>度</b>		28年(計画・)	<b>度</b> ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0
(2) 事業費・指標の 年 事業費 財源内	推 出金 (	単千千千千人時円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	23年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 か多者・社会状が 達で開始されたの ままたは5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	(決算見込・実績) 3,578 20 3,598 0 3,598 11.0 200.0 72,566.0 50.0 11.0 200.0 30.1 2等)の変化、市臣 24年度新規事業 福祉に関する困難 談支援に従事する	(予算・目標)  0  0  0  0  ま意見等  事例や多問題事を 職員等のスキルア	26年 (次年度計 (次年度計	子 下度 ・画・目 増加相 ・目がある	<b>標)</b> 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<b>27年</b> (計画・E	<b>度</b>		28年(計画・)	<b>度</b> ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	最終 (トータル=	年度 コスト・目標) 0

2	評価(Check1)担当者による事	<b>『後評価</b> (複数年度事業は途中評価)							
的妥当	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の 施策に結びつき、貢献しているか?意図 が上位目的に結びついているか? ② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行 わなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移行すること	■ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の7 を	がある。複雑な地域課題						
[評]	は可能か? ③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 □ 民間・NPO □ 市民協働 □ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 適切である ⇒【理由↓】 ■の要綱により事業を行っている。							
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させる ことはできるか?できない場合は何が原 因でできないのか?	▼   日上宗地かない ⇒【理田↓】 24年度単年度補助事業のためこの事業としては向上余地なし							
効性評	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その 事務事業との統合や連携を図ることはできるか?								
	はあるか?また成果から考えて、休止・ 廃止することはできるか?	<ul> <li>▼影響なし</li> <li>「影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】</li> <li>「地域包括ケアシステムが構築しにくくなる。</li> <li>市民が住みなれた地域で暮すために</li> <li>連携する必要があるため休止、廃止で</li> </ul>	は地域内の様々な職種が ぎきない。						
効率性	きないか?(仕様や工法の適正化、住民 の協力など)	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ■ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ■ 連携の会議や研修会の開催費用や総合相談を行うための設備費用のため削減はできない。							
評価	時間の削減や臨時職員対応や外部委託 による削減はできるか?)								
平性評	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担を見直す必要はないか?公平公正か?	□ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向 ☑ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民誰もが相談しやすい体制づくりのための事業であるので公平である。	性に反映						
3	評価(Check2)担当課管理者	による評価結果と総括							
<u>(1)</u>	1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☑ 適切 □ 見直し ② 有効性 ☑ 適切 □ 見直し ③ 効率性 ☑ 適切 □ 見直し ④ 公平性 ☑ 適切 □ 見直し	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今 余地あり 24年度単年度事業。当初予定していた計画どおりに事業をすすめることができた。今 ついては25年度予算に計上した。(地域包括ケアセミナー) 余地あり	後の方向性等について) ・後継続が必要な事業に						
_		素//DI AN/							
(1	)今後の事務事業の方向性(Check	の結果から定める)・・・複数選択可 (3) 改革・改善に	よる方向性						
	廃止(目的妥当性①、②、③の結果) 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	□ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) □ 公平性改善(公平性⑨の結果) □ 成果向上(有効性④の結果) □ 現状維持(全評価項目で適切)	コスト水準						
_		果)□□スト削減(効率性⑦、⑧の結果) □□スト削減(効率性⑦、⑧の結果)							
<u>(2</u>	<u>)改革改善案について</u>	向   成   上   果   維   水   持	北の場合は記入不要						
(4)	) 改革改善を実現する上で解決すべる	き課題とその解決策 成果優先度評価							
		「以木変元及計」							